

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）				
地区名	とよかわだい しせん 豊川第46支川				
事業箇所	しんしろしただもち 新城市只持				
事業のあらまし	豊川第46支川は新城市只持に位置し、保全対象として人家9戸、一般国道257号を抱える土石流危険渓流である。 土石流の危険性の高い渓流であり、人名などを守るため、土石流対策施設の整備を行う。				
事業目標	【達成（主要）目標】 ・人家9戸、一般国道257号を土石流から保全する。 【副次目標】 ・なし				
計画変更の推移		事前評価時 (2023年度)	再評価時(1回目) (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2025年度 ～2030年度	2025年度 ～2030年度		
	事業費(億円)	3.0億円	3.1億円		
	経費内訳	工事費	2.3億円	2.3億円	
		用補費	0.5億円	0.3億円	
	その他	0.2億円	0.5億円	事業の進捗による	
	事業内容	砂防堰堤工 1基	砂防堰堤工 1基		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・保全対象を土石流から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 事業着手から必要性について変化はないため		

1) 進捗状況

【事業計画及び実績】

		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計
工種 区分	調査・設計	←————→								
	用地補償			←————→						
	工事									
	堰堤工				←————→					
事業費 (億円)	前回計画	1.7				1.3				3.0
	実績	0.5								0.5
	今回計画	0.5	2.6							

【進捗率】

	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率	
	計画	実績	達成率 (%)	計画	達成率 (%)
	【①】	【②】	【②÷①】	【③】	【②÷③】
延長(km)	—	—	—	—	—
事業費 (億円)	1.7	0.5	29.4%	3.1	16.1%
工事費	1.0	0.0	0.0%	2.3	0.0%
用補費	0.5	0.2	40.0%	0.3	66.7%
その他	0.2	0.3	150.0%	0.5	60.0%

【施工済みの内容】

・なし

2) 未着手又は長期化の理由

概ね事業計画に沿って進捗している

3) 今後の事業進捗の見込み

【阻害要因】

・特になし

【今後の見込み】

・2026年度から工事着手し2030年には完了する見込みである。

判定

A

- ①A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。
 B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）
- ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
 - ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
 - ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
- C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。

【理由】

阻害要因の解消により工事着手に至ったことで、計画通りの完成が見込まれるため。

III 対応方針

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。
 継続：上記以外のもの。

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。